

ていない。上端部に近い部分はどこまでを一文字と認識すればよいか判然としない。通常の漢字では見慣れない字体のものも見られ、釈読を難しくしている。

圭頭状の形状や祭祀具を付近から共伴していることから、祭祀関係に用いられた可能性が高い。特に、中間付近に「ヰ」（菩薩）のような文字も見られるので仏教関係という推測も可能である。一方、水田と思われる方形区画施設に伴うことを考慮すると、水田農耕などに関係する可能性も想定される。

なお、木簡の釈読にあたっては奈良女子大学館野和己氏・新潟大学小林昌一氏のご教示を得た。

## 9 関係文献

（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成一三年度』（二〇〇二年）

（田中一穂）



# 木簡研究第一二号

卷頭言—WEB版木簡データベースの公開に思う—

石上英一

一九九八年出土の木簡  
概要 平城京跡右京七条一坊十五坪

内藤原京跡右京六条四坊北西坪

飛鳥池遺跡 飛鳥池東方遺跡

大藤原京跡左京北五条三坊南

秋篠・山陵遺跡 薬師寺旧境

備池廢寺 長岡宮跡 平安京跡左京三条三坊十五町

飛鳥東垣内遺跡 川原寺跡

七条二坊八町及び本園寺 烏羽遺跡・鳥羽離宮跡

大藪遺跡 興戸

宮ノ前遺跡 武者ヶ谷遺跡 河守遺跡

難波宮跡 大坂城下町跡

長保寺遺跡 溝昨遺跡 王楠遺跡

釣坂遺跡 加都遺跡

豊岡城跡

内藤守跡 難波宮跡

大坂城下町跡

坪飛鳥池遺跡 飛鳥路駅周辺第四地点遺跡

宮内黒田遺跡

宇津宮辻子幕府跡 沙留遺跡

江戸城外堀跡

（四谷御門外橋古跡）

詰・御堀端通・町屋跡 法光寺跡

白鷗遺跡

池之端七軒町遺跡

浅草寺遺跡 上千葉遺跡

宮町遺跡 小谷城跡（伝知善院跡）

上浜遺跡 屋代遺跡群（北陸新幹線関係）

樺田遺跡 一本柳遺跡

市川橋遺跡 柳之御所遺跡

志羅山遺跡

後田（旧記）遺跡

崎遺跡 福井城跡（1）

福井城跡（2）

神野遺跡

堅田B遺跡

広坂

跡中保B遺跡 東木津遺跡

折谷南遺跡

榎本杉遺跡 砂山中道下遺跡

下町・坊城遺跡C地点

崎遺跡 三田谷I遺跡

熊山田散布地

岡山城二の丸（中国電力

電所）遺構 新道（清輝小）遺跡

米田遺跡

百間川米田遺跡

日市遺跡 下上戸遺跡

長登銅山跡

觀音寺遺跡

平田七反地遺跡

元岡遺跡群

一九七七年以前出土の木簡（二二）

平城京跡左京二条二坊十坪

釈文の訂正と追加（二二）

長岡京跡（一八号）

東浅香山遺跡（二〇号）

伊興遺跡（一九）

シンボジウム「長屋王家木簡をめぐって」の記録  
削削からみた長屋王家木簡：渡辺晃宏、長屋王家の米支給関係木簡  
：勝浦令子、長屋王家の経済基盤と荷札木簡：柳木謙周、討論のま  
とめ：東野治之  
木簡の撮影  
今泉隆雄著『古代木簡の研究』

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円

井上直夫  
森公章